

【2026 年度/専門科目領域/専門科目群/リハビリテーション学科 理学療法学コース】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
日常生活活動学実習	PSP33-006	必修	1	3	前期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
坂本 祐太 他	D310	y.sakamoto	火曜 13:00~14:40		
授業の目的・概要	介助が必要な方の日常生活活動に必要な知識、介助技術、支援技術を習得し、実践できることを目的とする。各疾患の代表的な日常生活動作の指導方法、介助方法の実技を取り入れ、日常生活活動を理解する。				
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習)	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習)	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習)		
学習上の助言	実技を中心に行う実習科目である。各回の講義動画を事前に視聴し、講義に臨むこと。				
教科書	理学療法学テキスト 日常生活活動学/ 編集：白田 滋、MEDICAL VIEW				
参考書	標準理学療法学 日常生活活動学・生活環境学 第4版/編：鶴見 隆正、隆島 研吾/医学書院 新版日常生活活動 (ADL) 第2版評価と支援の実際 / 伊藤利之・江藤文夫編集 医歯薬出版 姿勢と動作 ADLをその基礎から応用 第3版 / 著：齋藤 宏、矢谷 令子、丸山 仁司 / メヂカルフレンド社				
外部教材					
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	臨床における日常生活活動に必要な知識を理解し、説明できる。			RH (2)、(3)	
②	日常生活活動に必要な指導方法を習得する。			RH (1)、(3)、(4)	
③	日常生活活動に必要な介助方法を習得する。			RH (1)、(3)、(4)	
④	日常生活活動に必要な住環境整備や補助具を理解し、説明できる			RH (1)、(5)、(6)	
⑤					
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	日常生活動作学実習の概論	[担当] 坂本	講義		0
2	寝返り・起き上がり動作について学習・指導・介助方法の実技を行う。	[担当] 坂本	実習・実技	関連動画を視聴しておくこと	1
3	起立、着座動作について学習・指導・介助方法の実技を行う。	[担当] 坂本	実習・実技	関連動画を視聴しておくこと	1
4	移乗動作について学習・指導・介助方法の実技を行う。	[担当] 坂本	実習・実技	関連動画を視聴しておくこと	1
5	車椅子動作について学習・指導・介助方法の実技を行う。	[担当] 坂本	実習・実技	関連動画を視聴しておくこと	1
6	歩行動作について学習・指導・介助方法の実技を行う。	[担当] 坂本	実習・実技	関連動画を視聴しておくこと	1
7	セルフケア、応用動作について学習・指導・介助方法の実技を行う。	[担当] 坂本	実習・実技	関連動画を視聴しておくこと	1
8	脳卒中片麻痺の日常生活動作について実技を行う。	[担当] 坂本	実習・実技	関連動画を視聴しておくこと	1
9	骨折・人工関節術後の日常生活動作について実技を行う。	[担当] 坂本	実習・実技	関連動画を視聴しておくこと	1
10	実技復習①：基本動作	[担当] 坂本	実習・実技	実技練習をしておく	3
11	実技復習②：歩行と日常生活動作	[担当] 坂本	実習・実技	実技練習をしておく	3
12	脊髄損傷の日常生活動作について講義し、実技を行う。	[担当] 坂本	講義・演習		0
13	common disease の日常生活活動について講義する	[担当] 坂本	講義・演習		0
14	住環境整備についてグループで演習する。	[担当] 坂本	講義・演習	住環境について調査する	1
15	住環境整備についてグループで演習する。	[担当] 坂本	講義・演習		
試	筆記試験				

【2026 年度/専門科目領域/専門科目群/リハビリテーション学科 理学療法学コース】

達成度評価								
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計	
		80	0	0	0	20	100	
総合力指標	知識・技術力	50	0	0	0	0	50	
	思考・推論・創造する力	10	0	0	0	0	10	
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0	
	発表・表現伝達する力	10	0	0	0	10	20	
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0	
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	10	10	
	問題を発見・解決する力	10	0	0	0	0	10	
評価のポイント						フィードバックの方法		
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点						
試験	①	✓	筆記試験 (①, ④) 定期試験を実施し、達成度評価を行う (評価割合: 40%) 実技試験 (①, ②, ③) 授業への中で行う実技試験 2 回 (評価割合: 40%)				試験結果の返却または開示	
	②	✓						
	③	✓						
	④	✓						
	⑤							
	⑥							
その他	①	✓	授業への取り組み姿勢 (評価割合: 20%): 講義視聴後のリアクションペーパーを提出で評価する				授業の中でフィードバック確認に来た学生には、個別に対応する。	
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
備 考								
他 担 当 教 員	なし							
教員の実務経験	理学療法士 (二次救急の急性期病床を持つ地域中核病院にて、整形外科疾患や内部疾患を中心に常勤として 7 年の勤務経験)							
実践的授業の内容	教員が担当した症例について紹介し、理学療法を実施する上で必要な指導方法・介助技術のデモンストレーションを行い、実践する。模擬患者に対し、一連の指導を実施する。							
そ の 他	実技を行うので、動きやすい服装で参加すること。 2~9 回までの 8 回は講義動画を視聴してから授業に参加すること。 また、授業の進行状況により、一部変更される場合がある。							